

2011 年度コレクション展  
特集展示

**「伊藤文化財団設立 30 年記念 寄贈作品の精華」**

**The 30th Anniversary of Ito Cultural Foundation  
- Highlights of the Donation**



本多錦吉郎(羽衣天女) 1890 年

拝啓

早春の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は、兵庫県立美術館の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当館では、3月26日(土)から7月3日(日)まで、2011年度「コレクション展 特集展示 伊藤文化財団設立 30 年記念 寄贈作品の精華」を開催します。

つきましては、ぜひ本展を広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券もご用意しております。ご希望の場合は、別紙の FAX 用紙をご送付ください。その他、ご不明な点や資料のご要望等がございましたら、どうぞ当館までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬具

趣旨

兵庫県立美術館は、さまざまな方々のご支援をいただきながら日々活動しています。その中でも本当に大きなお力添えをいただいているのが、「財団法人伊藤文化財団」です。このたびのコレクション展では、その設立 30 年を記念して、同財団による寄贈作品を中心とした展示を行います。

「伊藤文化財団」は、伊藤ハム株式会社創業社長・伊藤傳三氏のご遺志により、1981(昭和 56)年に設置されました。その設立趣旨には、「近年におけるわが国の物質文化の発展に比して、必ずしも精神文化が均衡ある姿で熟成していないことを憂い、兵庫県下の美術館や文化施設等の一層の充実を期すために、民間の立場から協力することにより、優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供とその拡大を推進して、県民文化の向上発展を期したい」とうたわれています。

以来 30 年間にわたって、兵庫県立近代美術館、そして兵庫県立美術館は、作品の寄贈・展覧会やコンサートへの援助・図書の寄贈など、様々な形で大きなご支援をいただけてきました。2011(平成 23)年 3 月現在、寄贈作品は約 700 点、寄贈図書は約 4,000 点に上ります。

本展は、当館のコレクションを代表する近代洋画の名品の数々、繊細であるためまとめて展示する機会の少ない安井曾太郎・小出楯重の貴重な素描、現代美術からは後期の「具体」の重要な作品群など幅広い寄贈作品の全容を紹介し、公共文化施設への貢献の意義を広く伝える企画です。

会 期 等 平成 23 年 3 月 26 日(土)～7 月 3 日(日)  
会期中に一部展示替えを行います。  
前期:3 月 26 日(土)～5 月 15 日(日)  
後期:5 月 17 日(火)～7 月 3 日(日)  
休館日:月曜日  
開館時間 午前 10 時～午後 6 時(入場は午後 5 時 30 分まで)  
特別展開催中の金、土曜日は午前 10 時～午後 8 時(入場は午後 7 時 30 分まで)

会 場 兵庫県立美術館 常設展示室  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

主 催 兵庫県立美術館

協 力 財団法人伊藤文化財団

観覧料金 一般 500(400) 300 円/大学生 400(320) 240 円/高校生・65 歳以上 250(200) 150 円  
中学生以下無料  
( )・・・団体料金 ……特別展とのセット割引  
障害のある方とその介護の方 1 名は各観覧料金の半額(65 歳以上除く)

#### 関連行事

こどものイベント「美術館探検ツアー」  
6 月 18 日(土)午後 1 時 30 分 午後 3 時 30 分  
要申込・有料  
お問合せ:電話 078 - 262 - 0908 こどものイベント係

学芸員によるギャラリー・トーク  
4 月 9 日(土) 展示室 2 階 (西田桐子・当館学芸員)  
5 月 14 日(土) 第 1 室・第 2 室 (西田桐子・当館学芸員)  
6 月 25 日(土) 第 3 室から (出原均・当館学芸員)  
いずれも午後 4 時から(約 45 分) 要観覧券

ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー  
会期中毎週金・土・日 午後 1 時より約 45 分間 エントランスに集合  
1 階・2 階・屋外のいずれかで開催 1 階・2 階の場合は要観覧券

## 展示概要

展示室 1 階では主として伊藤文化財団の寄贈作品を展示します。

展示室 2 階は、小磯良平・金山平三記念室・近代洋画・日本画の名品を中心に展示します。

展示点数は、展示替えを含め、約 270 点(予定)。

そのうち、伊藤文化財団寄贈作品は、展示替えを含め、約 160 点(予定)。

### 1 階

**(展示室 1) 美術館への贈り物 (出品予定点数 23 点)**

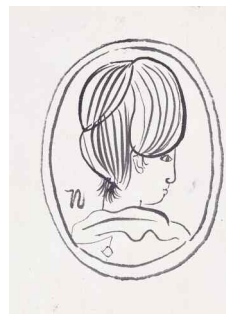
兵庫県立美術館のコレクションを代表する名品が並びます。



小出櫓重 (喇叭のある静物) 1924 年

**(展示室 2) デッサン研究室 (出品予定点数 前期 43 点 後期 43 点)**

寄贈作品のハイライトの一つである、450 点以上にのぼる安井曾太郎の素描作品、53 点の小出櫓重の素描から、半期 40 点以上ずつを展示します(会期中展示替えを行います)。



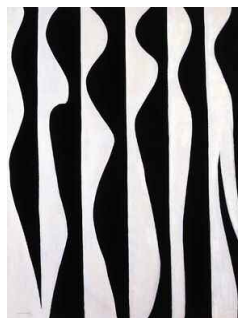
小出櫓重 (直木三十五「大阪を歩く」挿絵より) 1930 年 (前期展示)



安井曾太郎 (女性像) 1907 - 1911 年 (後期展示)

**(展示室 3) 兵庫の美術は深い (出品予定点数 25 点)**

神戸ゆかりの洋画、吉原治良と後期の「具体」の作品群を中心に紹介します。



吉原治良 (群像) 1946 年頃



菅井汲 (雷鳴) 1954 年

**(展示室 4) 版画の魅力 (出品予定点数 42 点 うち 8 点は前後期に分けて出品)**

寄贈作品を中心に様々な版画の表現をご覧ください。



カミーユ・ピサロ (柴を運ぶ女) 1896 年

**(展示室5) 海外の近現代彫刻 / 安藤忠雄コーナー (出品予定点数 11 点)**

兵庫県立美術館の彫刻コレクションから、海外の作品を中心に紹介します。また、当館設計者である世界的な建築家・安藤忠雄による震災復興プロジェクトを紹介するコーナーも併設しています。



ロダン(オルフェウス) 1892 年

**2階**

**(展示室6) 近代洋画・日本画の名品**

**(出品予定点数 45 点 うち 34 点は前後期に分けて出品)**

岡田三郎助・村上華岳などの作品を紹介します。



岡本神草(アダムとイブ) 大正初め(後期展示)



岡田三郎助(萩) 1908 年

**小磯良平記念室 (出品予定点数 17 点)**

名作《T嬢の像》《斉唱》をはじめ小磯芸術の魅力を堪能いただけます。



小磯良平(T嬢の像) 1926 年

**金山平三記念室 (出品予定点数 19 点)**

《大石田の最上川》など格調高い風景画を残した金山平三の歩みを紹介します。



金山平三(大石田の最上川) 1948 年

---

お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 担当学芸員 吉田 朋子、西田 桐子、出原 均

TEL:078-262-0909(直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905(直) FAX:078-262-0903

**広報用画像について**

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

「伊藤文化財団設立 30 年記念 寄贈作品の精華」

営業・広報グループ 宛  
F A X ( 0 7 8 ) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	本多錦吉郎(羽衣天女) 1890 年
2	小出檜重(喇叭のある静物) 1924 年
3	小出檜重(直木三十五「大阪を歩く」挿絵より) 1930 年
4	安井曾太郎(女性像) 1907 - 1911 年
5	吉原治良(群像) 1946 年頃
6	菅井汲(雷鳴) 1954 年
7	カミーユ・ピサロ(柴を運ぶ女) 1896 年
8	ロダン(オルフェウス) 1892 年
9	岡本神草(アダムとイブ) 大正初め
10	岡田三郎助(萩) 1908 年
11	小磯良平(T 嬢の像) 1926 年
12	金山平三(大石田の最上川) 1948 年

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。  
本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。  
本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。